

JANOG43 Meeting 参加レポート

法政大学工学部応用情報工学科

学部 4 年

木村 泰雅

1) JANOG Meeting に参加した全般的な感想

周りの方々のレベルの高さを実感する 3 日間であった。私が知識不足であったため、内容理解することができなかったプログラムも多かったが、企業の方々が現在開発しているもの、その開発時の課題など学校では学ぶことのできない話が多かった。IPv6 について触れている話が多く、今注目されている技術について企業の人たちの意見を聞くことができた。

2) JANOG Meeting に参加して得たこと・今後やりたいことなど

プログラムを聴いていて、私のネットワークに関する知識が不足していると感じることが多かった。私がかつて全く知らなかった技術について、浅くではあるが知ることができたので、JANOG に参加して知ることができた技術について今後学習していきたいと思う。

3) JANOG Meeting で印象に残ったプログラムとその感想

1 日目のプログラムである「SRv6 でサービスチェイニングをやってみた」が印象に残った。そのプログラムの前に「SRv6 最前線」というプログラムで SRv6 について複数の企業の方が話をされていたが、私が知識不足であるため理解できないことが多かった。しかし、「SRv6 でサービスチェイニングをやってみた」では、デモを交えながら説明を行っており、私でも理解しやすい内容であったため、とても印象に残っている。

4) その他、各自で JANOG・自分に対して思った感想・目標など

JANOG では様々な種類の発表があるため、知見を広げるには良い機会であった。プログラムの質疑応答の時間では、私が質問した時に丁寧に答えていただけて、初参加や学生など関係なく質問をしやすい雰囲気であると感じた。

仕方ないことではあるが、2つの会場で同時にプログラムを行っていたので、参加したいプログラムが重なってしまい、参加できないプログラムがあったのが心残りであった。ただアーカイブで見ることができるプログラムも多いので、参加できなかったプログラムについてはアーカイブで見たいと思う。

JANOG で得た知識や経験を無駄にせず、益々ネットワークについての知識を身に付けたいと思う。